

おおむら夢ファーム シュシュ

～地産地消による地域活性化～

(平成18年度優良活動表彰 農林水産大臣賞(交流促進部門受賞))

代表者: 山口 成美

所在地: 長崎県大村市

構成員: 生産者 8名

活動開始年月日: 平成8年8月

(法人化 平成10年7月)



代表取締役 山口 成美

取組内容

1 「顔が見え、話ができる」取組

- 出荷者の多くは半径約2km圏内の近距離の農家が占めており、平日でも平均2、3回以上は追加出荷に訪れます。また、1時間おきに売上状況をメール配信することによって、生産者自らが販売状況を整理し、効率のよい業務計画の実施、売り場の品薄解消につながります。
- 直売所で販売している農産物には生産者名を明記し、店内には生産者の圃場や顔写真を提示するなど、地場産への理解が高まるよう工夫しています。
- 生産者の直接販売の一例として、シュシュでは月に一度、長崎和牛フェアを行っています。試食・販売会や長崎和牛が当たる抽選会等のイベントを通して、こだわりを伝えます。他にも、ぶどう、なし、お茶の試飲・販売など生産者自ら産物をPRし消費者との会話を心がけています。



長崎和牛フェアの様子

生産者、食肉センター、シュシュの3者が協力してイベントを盛り上げます。毎月行うことにより伝える側のスキルも上達しています。

2 地場農産物の理解の促進

- 都市と農村の交流の一環として、平成19年より「農業塾」を開講。平成22年8月現在まで、県内外含め約250名の塾生が受講しています。地域の農業者を講師に招きながら、野菜や果樹の栽培方法、農機具の使い方など月1回のペースで学んでいます。
地域を巻き込んだ取組を行うことにより地場農産物の理解が深まります。
- 消費者と農業者の交流を図るため多くのイベント(創業祭、収穫祭等)を行っています。また、情報発信として、月に一度発行の情報誌「あってん通信」はスタッフが手書きで作成します。直売所とログハウスに設置した大型テレビでは、農産物のこだわりや、梨狩り、ぶどう狩りといった地域情報の発信等を行います。



農業塾ブランド焼酎

「よっこいしょ どっこらしょ」と「団塊の華」

塾生の要望でスタートした焼酎作りでは、塾生と青年農業者が協力して、耕作放棄地の開墾、芋の植付、収穫、焼酎の商品化と取り組みました。塾生ブランドは話題を呼び多くのメディアで取り上げられ、地域のPRにつながりました。



DVD録画再生 生産者・農産物紹介

フルーツ狩り体験ができる近隣の農家を紹介します。

こだわりの栽培方法や召し上がり方などのインタビュー形式です。

3 体験型農業の拠点

- 大村市福重地区はぶどう狩り・梨狩りをはじめとしたフルーツ狩りが盛んな地域です。シュシュはおおむらグリーンツーリズムの事務局としてフルーツ狩り、民泊の紹介を行っています。地域の体験型農業拠点としての役割が求められています。
- 人気の体験教室は年間約1万人の利用があり、収穫したばかりのフルーツで作るタルト作りや大福教室、農業塾生と児童クラブが栽培・収穫した小麦で作るパン作りなど多数のメニューで取り組んでいます。
- 世界に一つだけのメロンと題して、メロンオーナー(文字入れメロン)に取り組んでいます。受粉～収穫まで4つの作業を通してメロン生育も学びます。1個1,000円。また、作業工程が分かれていることにより地域に何度も足を運んで頂けるメリットがあります。



いちご大福教室

シュシュに併設しているいちごハウスで、いちごを収穫した後、すぐに体験教室で大福教室づくりを行います。新鮮ないちごを使った教室と生育を学べるということで、近年は修学旅行生の利用も増えています。

4 農業後継者の応援

- 農業青年部が作付けを行っている小麦で商品化した「イケ麺うどん」「イケ麺そうめん」は、話題性もあって販売数を伸ばし、麦の作付け面積の増加につながりました。
- 月に一度体験(パン作りやフルーツ狩り等)を通じた“婚活”(めぐりあい)を開催。昨年は16組のカップルが誕生し、農業後継者の出会いの場にもつながっています。

<最近の取組>

農業体験農園をオープン。1区画30㎡で、全25区画用意。契約は4月中旬から2月中旬の年間契約で、利用料は1区画36,500円。「1日100円で心と体の健康を」をキャッチフレーズに、講習費、指導料、種子・苗・肥料費、道具の貸出し料等もすべて含まれています。



有限会社シュシュ

- 所在地: 長崎県大村市弥勒寺町486
- TEL: 0957-55-5288 FAX: 0957-55-5323
- 定休日: 第3水曜日
- URL: <http://www.chouchou.co.jp/>